

学校だより

わかくさ



令和元年度を振り返って

年度末を迎えたこの時期に、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐ目的で、学校が一齐に臨時休業となつています。急な対応となりましたが、保護者の皆様にはご理解とご協力をいただきありがとうございます。早く終息してくれることを祈るばかりです。

子どもたちには、3月4日に校内放送で終了式・終業式に代わるお話をしました。臨時休業になった理由や、お休みの間の過ごし方、気を付けること、今年1年頑張ったこと、そして4月には元気で登校してきて欲しいことなどを伝えました。初めての校内放送でのお話に、各教室でうなずきながら聞いていた子どもたちもいたようです。

さて、このようなか中、3月6日には高等部、13日には小中学部の卒業式を行い、無事卒業生を送り出すことができました。以下に高等部の卒業生に送りました「式辞」を掲載しましたのでご覧くださいれば幸いです。保護者の皆様には、今年度も本校の教育につきましてもご理解とご協力をいただきまして心から感謝いたします。新年度もどうか引き続きよろしくお願いいたします。

式辞

冬の寒さは早々に和らぎ、校門に続く坂道の桜のつぼみは、早春の柔らかな日差しを浴びて、その花開く時を今か今かと待ちわびているようです。

この春の息吹を感じる佳き日に、「ご来賓、保護者、ご家族の皆さまをお迎えし、令和の時代を迎えて、また高知若草特別支援学校となり、初めての高等部卒業証書授与式を挙げていきますこと」に、深く感謝申し上げます。思いがけない一斉臨時休業の最中ではありますが、心からのお祝いをしたいと思います。

先ほど十名の卒業生に卒業証書をお渡しいたしました。卒業生の皆さん、本当におめでたうございます。この三年間は、学校生活の仕上げとなる最高学部の生徒として、厳しい学習や活動にもあえて取り組み、心や体を鍛え、粘り強く努力する姿はいつも輝いていました。今手にした卒業証書は、一生懸命努力をした証でもあります。どうか、若草でたくさんのお思い出とともに、いつまでも大切にしたいと願っています。

卒業生の皆さんは、高等部での三年間で、たくさん知識を得、経験を重ね、立派に成長されました。

私が、皆さんと過ごしたこの一年を思い起こしてみますと、A組の門脇伊吹さん、中平翔さん。一人は、体調や環境の変化も乗り越え、いつもたくさんの方たちや先生に囲まれ、人との関わりを楽しみながら学習に取り組んでいました。

B組の吉岡歩架さん。歩架さんは感覚を澄ませ、毎日校内に力強い足音を響かせ、声をかけると笑顔とタッチで挨拶を返してくれました。

三人の皆さんがこれまで頑張ってきたことを、自らの世界を広げてきたことは、これからの生活を支えてくれる確実な学びとなりました。

次に、D組の小川正明さん、栗林玉雄さん、黒木咲智さん、仲村瑠梨さん、野村風花さん。五人は、どんな学習にも全力で取り組み、学校中を明るく元気にしてくれる皆さんでした。毎日を楽しみ、努力を惜しまず、相手を思いやる気持ちを忘れない、そんな皆さんの姿は、これからの社会を生き抜く素晴らしい力だと確信しています。

そして、F組の大崎優太さん、永山真衣香さん。二人は卒業後の進路について明確な目標を持ち、一歩一歩着実に学習や生活を重ねてきました。今年も、自分自身の気持ちと折り合いをつけながら、最上級生として生徒会や寄宿舎でリーダーシップを発揮したり、卒業後の生活

を見据えて、自己理解を深めたりする一年でもあったと思います。

教職員一同、皆さんを大変誇りに思うとともに、後に続く在校生にとっても頼もしく、尊敬できる先輩でした。

そして、皆さんには、これまで多くの支えがあったことを忘れないでください。これからは、皆さんが誰かを支える人、「あなたがいなくてよかった」と思ってもらえる存在になってください。そのためには、「一生懸命努力すること」、「感謝の気持ちをもつこと」、そして「笑顔を絶やさない」ことも、一層大切にしたいと思えます。

今、皆さんは、自分らしい夢や願いに向かって、新しい歩みを始めるためのスタートラインにやってきました。一人一人の進む道は異なりますが、その道のりの途中には、辛いことや、悲しいこと、悔しいことに出会い、心が折れそうになることがあるかもしれません。立ち止まったり、後戻りしたりするときもあるでしょう。でも、その試練を一つ一つ乗り越える力と強い心を、皆さんはこの若草で培ってきました。その先には輝かしい未来と大きな喜びが待っているに違いありません。自信をもち一歩一歩前に進んでいくください。

保護者の皆さま、ご家族の皆さま、ご卒業、誠におめでたうございます。これまでの日々を思いお喜びもひ

としおのことと存じます。私も教職員一丸となって教育に当たってまいりました。何かと、至らぬ点もございましたが、ともに今日の日を迎えることができましたのも、保護者の皆様の深い愛情と心の支えのおかげと感謝の気持ちでいっぱいです。

また、本日ご臨席を賜りましたご来賓の皆さまにおかれましては、ご多用にもかかわらず、卒業生の前途を祝福していただき誠にありがとうございました。これまで皆さまから、お寄せいただきました本校へのご厚情に改めて感謝申し上げますとともに、今後も引き続き温かく見守っていただきますようどうかよろしくお願い申し上げます。

さあ皆さん、いよいよ旅立ちの 때가やってきました。若草で過ごした日々や絆を財産に、勇気を出して、飛び立ってください。私たちはいつまでもあなた方を応援しています。皆さんの未来が、希望と幸せに満ちたものとなることを心から願い、式辞といたします。

令和二年三月六日

高知県立高知若草特別支援学校長

橋本 典子



### 高等部 卒業生を送る会

2月20日、「卒業生を送る会」を行いました。

今年度の卒業生は10名。残念ながら、訪問学級の門脇さんは参加することができませんでしたが、9名の卒業生と16名の在校生が一緒にお祝いし、楽しい思い出を作りました。最初に、生徒会新執行部の進行でセシモニーが行われました。

まず、卒業生一人一人から在校生へ感謝を伝える言葉がありました。卒業生の緊張した面持ちに、会場の空気もピンと張り詰めていました。その後の在校生からの贈り物でパツと笑顔の花が咲きました。

在校生が贈ったのは、皆で作った寄せ書きです。心のコモったプレゼントに、卒業生も、その担任達も満面の笑顔でした。

その後は、生徒会のリードのもと、皆でビンゴゲーム大会を行いました。生徒会執行部の明るいうリードに会場は大いに盛り上がり、皆、思い思いの景品を選んで、楽しく賑やかに「送る会」の幕を閉じることができました。

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。

在校生が心を込めて皆さんに贈った幸せな時間を、大切な思い出の1ページに加えてください。

門脇さん、一緒に卒業式を迎えることを、皆で楽しみにしています。

(高等部主事 河野 美知)



### 中学部「中学部卒業生を送る会」

2月28日(金)に6名の保護者の方に来校いただき、学部参観を兼ねた「中学部卒業生を送る会」を行いました。今年度は6名が中学部を巣立っていきます。卒業生全員からの思い出や高等部に向けての宣言を

聞いているとすごく頼もしく感じたと同時に、もうすぐ卒業なのだという寂しさも込み上げてきました。卒業生のみなさん、在校生からプレゼントさせてもらった袋、大切に使うてくださいね。今年度の卒業式は、卒業生のみで実施されるため、在校生を含めてたくさんの方で卒業生をお祝いすることができてよかったですと思います。

お忙しい中、参観および学部懇談に参加いただきました保護者のみなさま、本当にありがとうございました。また、今年度の学部運営にご理解、ご協力をいただきましたことに厚くお礼申し上げます。

(中学部主事 山本 洋平)



### 小学部「6年生を送る会」

2月28日(金)、小学部では、「6年生を送る会」を行いました。

卒業生1名が『ロッキーのテーマ』に合わせ、笑顔で歩きながら入場してくると、会場は大きな歓声と拍手に包まれました。みんなの前で卒業生が紹介された後、プレゼント交換ゲームを行いました。在校生からは、卒業生の名前や大好きなピアノの絵が描かれたかばんと、在校生が選んだ写真や図工の時間に作った作品でいっぱいアルバムが贈られました。卒業生からは、和紙を重ねて貼った手作りの衝立が贈られました。プレゼント交換の後、みんなでスライドショーを見ました。卒業生の小さな頃の写真や、6年間の様々な学習の様子が映し出されると、ほほえましい様子や成長ぶりに、教員は思わず笑顔になったり涙ぐんだり…。最後にはみんなで『校歌』や『旅立ちの日に』を歌いました。教員からも、ギター&ピアノの生演奏で『栄光の架け橋』や、卒業担任のオリジナルソングなど、たくさんのお歌のプレゼントがありました。卒業生はみんなの歌声に、とびきりの笑顔を返していました。最後に、在校生からお祝いの言葉を贈りました。卒業生からも、「みんなありがとう！」と挨拶。在校生が作った花道を通り、別れを惜しみながら退場しました。

卒業生が大好きな音楽に溢れた、楽しい時間になりました。中学生に

なっても、頑張ってください。

(小学部 黒川 美優)



### 高3生による絵本の読み聞かせ

1月28日(火)、高等部F組の高3生2人が、「国語表現」の授業で取り組んだ「絵本の読み聞かせ」を小学部でしてくれました。

自分でストーリーを考え、イラストや写真を駆使して作成したスライドを使って、それぞれ本ずつお話を聞かせてくれました。桃太郎が鬼退治をして手に入れた魔法の棒で未来へ行く『続・桃太郎』や、日々の生活に不満を抱いていた大学生が不思議な体験をする『大学生の不思議な日』、おじいさんがある日出会った犬との心温まるお話』おじい

さんと犬の物語』など、それぞれ面白心がほっこりするお話ばかりでした。

高等部のお兄さんお姉さんの読み聞かせに、小学部の児童はどの子も画面に釘付けで、鮮やかなイラストに笑顔が出たり、映像に電車が出てくると「でんしゃ」と嬉しそうに言ったり、不思議なストーリーに「なんで?」と思わずつぶやいたり、みんな本当によく見て聞いていました。最後に、高3生が準備していたアンケートに、小学部児童一人一人が面白かったお話を丸をつけて、お礼とともに渡しました。小学生から話しかけられて、緊張していた高3生も表情がゆるみ、笑顔で応えていました。

後日、高3生からアンケートのお礼のお手紙をいただき、お手紙の交換をすることもできました。とてもよい交流となりました。この日のために準備してくれた高3生の二人に感謝です。

(小学部主事 堀 ゆかり)



### 高知龍馬マラソン ファンラン

2月16日(日)に高知龍馬マラソンが開催され、ファンランの部に若草の子どもたちも参加しました。ご存じのとおり、当日は、龍馬マラソン初めての雨でした。そのため、多くの選手が出場を取りやめかと思っていました。予想に反して9名の児童生徒が参加し、電車通りを元気に走ってきました。

当日は、合羽を着用していたり、車いすにビニールの屋根をつけていたり、それぞれが雨対策をばっちり行っていました。

レーサー用の車いすで電車通りを駆け抜けた選手。生活用の車いすで自走した選手。電動で自走した選手。介助者に押してもらった選手。それぞれの方法でゴールを目指しました。

大好きなキャラクターの服を着たり、親子で被り物をしたり、走りながら沿道に手を振ったり、まさに“ファンラン” 楽しく走ることができたと思います。そして、このような経験の積み重ねが、今後のスポーツ参加につながるのではないかと感じているところです。

一方、応援団も早朝から中央公園の南側に陣取り、横断幕を準備して、今か今かと待ちました。選手が前を通りかかると名前を叫んで応援しました。レーサーの選手はあっという間に通り過ぎ、名前を呼び間もないほどこでした。

保護者のみなさまには、朝早くか

ら送迎等にご協力いただき本当に感謝しています。学校では、このようなスポーツ大会への参加を通じて、スポーツを通じた社会参加や余暇活動の充実につながるよう取り組んでいきたいと考えていますので、引き続きご協力よろしくお願い致します。

(教頭 濱田 邦彦)



学校生活アンケート

・交流及び共同学習報告

今年度も6月と11月に「学校生活アンケート」を実施しました。このアンケートは、児童生徒が学校生活を送る中でどのようなことを感じているのかについて、率直な気持ちを伝えてもらうために行っています。

す。アンケートの中には、児童生徒からさらに楽しい学校にするためにしたいこと等、いくつか意見を出してくれています。できるだけ児童生徒の希望に添えるように検討していきたいと考えています。今後児童生徒が楽しく学校生活を送ることができているかを知る一つの方法として、このアンケートを役立てていきたいと考えています。

また、人権教育の一環として本校では、交流及び共同学習を行っています。普段経験することが少ない同世代の友だちと一緒に学習する機会として、本年度も小学部は春野西小学校と、中学部は春野・戸波中学校と実施しました。高等部は高知商業高等学校との交流及び共同学習と併せて、春野高等学校総合学科の発表会にも参加しました。寄宿舎では、夏まつりに春野高等学校の生徒会と実行委員会を組織して企画・運営する等の交流を行い、本校と交流校が共に相互の触れ合いを通じて、豊かな人間性を育むことを目的に活動することができました。

来年度については、人権教育の取り組みとして保護者の方にも参加していただいている講演会等にも取り組んでいきたいと考えています。今後ともいろいろとご協力していただくことが多くあると思います。よろしくお願いいたします。

(人権教育主任 沖 警一郎)

研究部より

今年度、校内での研究活動として、来年度からの新学習指導要領の本格実施に向けて、各教科等の目標や内容を明確にした授業改善の取組を柱とし、授業改善が教育課程の改善・充実へとつながることを目指してまいりました。特に、子どもたちが各教科で「何を学ぶか」という視点で学習の目標や内容を明らかにし、併せて「どのように学ぶか(主体的・対話的で深い学び)」という視点を踏まえた授業づくりを全教員が行いました。さらに今年度は、新学習指導要領で重視されている資質・能力の確実な育成の観点から、学習評価についても授業改善の中で考えていけるよう、「何ができるようになるか」について、評価の3観点(「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」)を整理し、具体的な子どもたちの学びの姿から捉えることとしました。

上記のねらいのもと、全教員が公開授業を実施し、授業づくりの際には、本校が作成した『主体的・対話的で深い学びの視点での授業改善シート』の、学ばせ方の手段を参考にしました。また、公開授業後は、『公開授業後まとめシート(下図)』を用い、授業を通してつけた力が、子どもたちにとってどのように身に付いたか、子どもたちの具体的な学びの姿を記入していくことで、学習評価を行える基礎をつくってまいりました。『公開授業後まとめシート』は、

授業後の研究協議等で意見を出し合いながら、子どもたちの学びにとって本当に意味のある授業づくりを行うために、全教員が授業改善の視点をもち、作成してまいりました。この『公開授業後まとめシート』は、今年度の実践集録として集約し、来年度からのさらなる授業づくりや授業改善の土台となるよう、活かしていきたいと思っております。一年間、本校の研究活動にご理解、ご協力いただきました。本当にありがとうございました。

(研究部長 笹方 真佑)

『公開授業後まとめシート』様式

| つたたいか<br>(3つ)        | 改善前                                                                                      | 改善点                                                                 | 改善後                                                                                      | さらなる<br>改善点                                                         | 一年間を通じてつたたいか<br>(児童生徒の具体的な姿) |
|----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|------------------------------|
| 知識及び技能               | 児童生徒の具体的な姿<br>主語は、児童生徒                                                                   | 主語は、教師                                                              | 児童生徒の具体的な姿<br>主語は、児童生徒                                                                   | 主語は、教師                                                              | 知識・技能                        |
| 思考力・<br>判断力・<br>表現力等 | 1回目の授業<br>(公開授業にしても、公開授業でなくてもOK)<br>の際に見られた、児童生徒の姿<br>【知・技・】<br>【思・判・表】、【学・人】<br>を具体的に記入 | 学ばせ方の手法(主体的、対話的、深い学び)を記入する。<br><br>(主体的・対話的で深い学びの視点での授業改善シートを活用する。) | 2回目の授業<br>(公開授業にしても、公開授業でなくてもOK)<br>の際に見られた、児童生徒の姿<br>【知・技・】<br>【思・判・表】、【学・人】<br>を具体的に記入 | 学ばせ方の手法(主体的、対話的、深い学び)を記入する。<br><br>(主体的・対話的で深い学びの視点での授業改善シートを活用する。) | 思考・判断・表現                     |
| 学びに向かう力、<br>人間性等     |                                                                                          |                                                                     |                                                                                          |                                                                     | 主体的に学習に取り組む態度                |